フォントの組み合わせとIllustratorの基本機能で作るタイポグラフィ

Illustrator / Photoshop

フォントの組み合わせとIllustratorの基本的な機能（ワープ、字形、クロスと重なりなど）を使ってタイポグラフィを作成します。

タイポグラフィへの取り組みはIllustratorの機能の理解はもちろんのこと、フォントなどの造詣を深め、デザイナーに求められる総合力の向上に繋がるので、皆さまもぜひ取り組んでみてください！

POINT

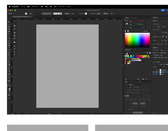
- ワープで文字を変形する
- 文字タッチツールを使って文字を調整する
- クロスと重なりで部分的な装飾効果を調整する

基本情報

01 今回のアートボードのサイズは以下の通りです。
横：1440（px）x 縦：1920（px）

［bg］レイヤーはアートボードと同サイズの長方形で覆い、色はグレー（R／180　G／180　B／180）にしておきます。

そのнад［bd］レイヤーを追加してこちらに作成していきます。



文字を配置

02 文字を配置します。

［文字ツール］で［LAUGHTER］［IS THE］［Best］［MEDICINE］とだけ、［文字］パネルでそれぞれ配置をだいたいきます❶。

［LAUGHTER］❷
NiagaraEngraved／Regular
フォントサイズ：640pt
垂直比率：100%　水平比率：65%

［IS THE］❸
Matrix ti Tall OT Semi／Semi
フォントサイズ：200pt
垂直比率：100%　水平比率：100%

［Best］❹
AI Fresco／Bold
フォントサイズ：600pt
垂直比率：100%　水平比率：100%

［MEDICINE］❺
GimletDisplayComp Medium／Medium
フォントサイズ：375pt
垂直比率：100%　水平比率：70%

MEMO

こちらはすべてAdobe Fontsのフォントで行ごとにフォントをそれぞれ変えております。全体に統一感を出された高級感を感じさせるフォントを中心に選定しております。

文字を加工

03［LAUGHTER］をワープを使って変形します。

［選択ツール］で［LAUGHTER］を選択、［アピアランス］パネル下部の［新規効果を追加］から［ワープ／下弦］を選択❶、［ワープオプション］ダイアログをは下のように設定します❷。

スタイル：下弦
水平方向にチェック
カーブ：30%

調整後のイメージが❸です。

MEMO

Illustrator27.1.1は上弦・下弦のアイコンとも形が逆になっております❶。お使いのバージョンによって適宜ご選択ください。

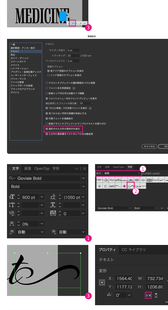
04［Best］を［文字タッチツール］を使って加工します。

［文字タッチツール］で［B］を選択、下部に出てくる異体字から形状を変更します。

続けてパンヂィングボックスの右上のハンドルを左方に移動して縮小❶、パンヂィングボックスの内の文字を選択してT字に移動し、配置を調整します❷。

調整後、［B］（e）の文字間が詰まってしまったので［e］を選択、少し右にずらします❸。

［t］を選択、［B］と同様、下部に出てくる異体字から形状を変更します❹。



MEMO

［文字タッチツール］は直感的に大きさや配置の調整や異体字の選択などができるので、このようなタイポグラフィを作成する際は非常に重宝します。

MEMO

文字を選択した際に下部に出てくる異体字は［環境設定／テキスト］の［選択されたエリアの異体字を表示］のチェックの有無で、表示・非表示の切り替えが可能です❶。

05 オーナメントを追加します。

［文字ツール］でキャンセルをクリック、［文字］パネルを以下のように変更します❶。

Gloviale Bold／Bold
フォントサイズ：600pt

［字形］パネルで［表示：装飾］を選択し、オーナメントを選択❷します❸。

追加したオーナメント❹を［プロパティ］パネルの［水平方向反転］を選択❺、［選択ツール］で角度と位置を調整します❻。

調整後、オブジェクト全体の配置・角度を調整してバランスを整えます❼。

MEMO

異体字とは字体の異なる文字のことです。

異体字の種類、数はフォントによって異なります。
Adobe Fontsスクリプト系のフォントでは約四異体字が充実しているフォントの一例に［AI Fresco］［Gloviale Bold］［Origins Smooth Regular］が挙げられます。

また、［字形］パネルの［表示］の項目もフォントによって異なります。
今回使用した［Gloviale Bold］の装飾は［装飾］という項目にあり、［Origins Smooth Regular］の装飾は［デザインセット15］という項目になります。

06［Best］とオーナメント、［MEDICINE］に自縛を追加します。

［選択ツール］で［Best］とオーナメントの両方を選択、グループ化（Mac：⌘+G／Win：Ctrl+G）します❶。

［Best］とオーナメントのグループを選択した状態で、［アピアランス］パネル下部の［新規塗りを追加］を選択、［塗り］を黒（R／0　G／0　B／0）、［線］を白（R／255　G／255　B／255）として［線］は［塗り］の下に配置❷、［線］パネルをUTFのように設定します❸。

線幅：20pt　線端：丸型先端
角の形状：クラウド結合

調整後のイメージが❹です。

［MEDICINE］にも同様のアピアランスを追加するため、グループを選択、［アピアランス］パネルのサムネイルをドラッグして［MEDICINE］に適用します❺。

グループを［MEDICINE］の手前に配置した、調整後のイメージが❻です。

クロスと重なり

07［Best］とオーナメントのグループ、［MEDICINE］に［クロスと重なり］を適用します。

［選択ツール］でグループと［MEDICINE］の両方を選択、メニューバーの［オブジェクト／クロスと重なり／作成］を選択します❶。

2つのオブジェクトが重なる部分を囲って部分的な装飾関係を入れ替えます❷。

調整後のイメージが❸です。

装飾の追加

08 上下に装飾を追加します。

［直線ツール］で線を引きます。長さは［LAUGHTER］と同程度の長さ、［線］パネルで［線幅：10pt］とします。

複製（Mac：option+ドラッグ／Win：Alt+ドラッグ）して下に もう一つ線を追加、下の線は［線幅6pt］とします❶。

［05］と同様の方法で四的形状のオーナメントを追加します❷。

追加したオーナメントを縦の上に配置、大きさを調整します❸。

［選択ツール］で作成した線とオーナメントを選択、複製（Mac：option+ドラッグ／Win：Alt+ドラッグ）して［プロパティ］パネルの［垂直方向に反転］を選択❹、下に配置します❺。

白縁をなくし黒の塗りだけに

09 白縁があると良いづらいので黒の［塗り］だけにします。

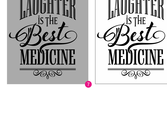
作成したオブジェクトをすべて選択（Mac：⌘+A／Win：Ctrl+A）、メニューバーの［オブジェクト／透明部分を分割・統合］［分割/統合］を下のように設定します❶。

すべてのテキストをアウトラインに変換にチェック
すべての線をアウトラインに変換にチェック

続けて［パスファインダー］パネルの［合流］を選択します❷。

［ダイレクト選択ツール］で黒の一部分を選択します❸。

メニューバーの［選択／共通／塗なし］を選択❹すると、黒の［塗り］のオブジェクトが すべて選択されるのでカット（Mac：⌘+X／Win：Ctrl+X）します。

残ったオブジェクトは不要なのですべてを選択（Mac：⌘+A／Win：Ctrl+A）❺して消去、同じ位置にペースト（Mac：shift+⌘+V／Win：Shift+Ctrl+V）します❻。

［レイヤー］パネルで［bg］レイヤーを非表示にして完成です❼！